

もつと知りたい!

戦中・戦後のくらし

入場無料

焼け跡を歩く母子
昭和20年(1945)9月
米国立公文書館提供

千人針・和歌山市公園前
昭和12年(1937)～19年頃
和歌山市立博物館提供



千人針



平成27年 10月31日[土]～11月8日[日]

午前9時～午後5時

※初日は、10時30分からオープニングセレモニーを行います。

会場 和歌山県民文化会館 大展示室、中展示室

所在地 和歌山市小松原通り一丁目1番地 和歌山県庁正門前

主催 昭和館

協賛 日本遺族会第3ブロック(和歌山県遺族連合会 富山県遺族会 石川県遺族連合会

福井県遺族連合会 愛知県遺族連合会 岐阜県遺族会 三重県遺族会 滋賀県遺族会

奈良県遺族会 京都府遺族会 大阪府遺族連合会 兵庫県遺族会

〔後援〕和歌山県 和歌山県教育委員会 和歌山市 和歌山市教育委員会 朝日新聞和歌山総局

読売新聞和歌山支局 毎日新聞和歌山支局 産経新聞社 ニュース和歌山

わかやま新報 NHK和歌山放送局 テレビ和歌山 エフエム和歌山 和歌山放送



昭和館 (厚生労働省委託)

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575 <http://www.showakari.go.jp>

もっと知りたい!

戦中・戦後の暮らし

昭和館では、常設展示室において「戦中・戦後の国民生活上の労苦」に係る歴史的資料を展示しております。

また、このような実物資料を活用した展覧会を各地でも開催してほしいという要望があり、平成13年から各地で実施してきたところ、このたび関係機関、各位のご協力をいただき、巡回特別企画展「もっと知りたい!戦中・戦後の暮らし」を、和歌山市において開催する運びとなりました。

本展では、実物資料を中心に、厳しい時代を生き抜いた人々が綴った手記や、その姿を記録した写真を通じ、母や子、そしてその時代に生きた人々の様々な思いや、苦難の多かった暮らしを紹介します。

建設中の東京タワー 昭和33年(1958)6月 毎日新聞社提供

展示内容

I 家族の別れ

II 戦中の暮らし

1.さまざまな統制 2.戦中の子どもたち 3.空襲、そして終戦

III 戦争が終わって

1.廃墟からの出発 2.遺された家族 3.戦後の子どもたち 4.復興に向けて

IV 慰霊の旅

1.遺骨収集帰還 2.慰霊巡拝

せんし そうしよ

『戦史叢書』『陸軍・海軍部隊略歴』 検索・閲覧コーナー

東京の昭和館では、4階の図書室において『戦史叢書』と『部隊略歴』を電子化し、検索端末にて情報の提供を行っております。巡回特別企画展では、本館と同様の検索・閲覧を行うことが可能です。なお、『戦史叢書』は各地の図書館に所蔵されていますが、パソコン上で検索できるシステムは当館独自のものです。

※『戦史叢書』とは、防衛研究所戦史室が編集し、朝雲新聞社より出版された公刊戦史(全102巻)です。

※『陸軍・海軍部隊略歴』は、海軍省および厚生省(現・厚生労働省)援護局の各資料をもとに作成した陸海軍部隊の編成から行動の経歴を記しています。



焼け跡にひろがる和歌山駅わきのヤミ市
昭和20年(1945)12月
毎日新聞社提供



墨塗り教科書「初等科国語」



要予約 学校団体(小・中・高)での見学にも対応します

昭和館は、戦没者遺族をはじめとする国民が経験した戦中・戦後(昭和10年頃から昭和30年頃までを対象としています)の国民生活上の労苦に係る歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、後世代にその労苦を知る機会を提供する国立の施設です。

生徒のみなさんに昭和館の職員が展示解説を行います。展示解説は予約制(先着順)ですので、ご希望の学校は昭和館 学芸部(03-3222-2577/月曜休館)まで直接お申し込み下さい。

交通情報

○南海電鉄「和歌山市駅」より

徒歩/約20分 タクシー/約5分

バス/約10分(9・10番のりば)

「県庁前」バス停下車(バス停より約300m・徒歩約4分)

【立体駐車場】収容台数 476台(うち身体障害者専用6台)

【駐車料金】40分100円(午前7時~午後10時迄の間)

24時間最大800円(入庫~24時間以内)

○JR「和歌山駅」より

徒歩/約35分 タクシー/約10分

バス/約10分(2番のりば)

「県庁前」バス停下車(バス停より約300m・徒歩約4分)



◎お問い合わせ

昭和館 学芸部 TEL.03-3222-2577 [月曜休館]

連携
企画

しょうけい館・平和祈念展示資料館 — 合同特別展示 —

【会期】平成27年11月4日(水)~8日(日) 【会場】和歌山県民文化会館 小展示室

●しょうけい館『義肢に血が通うまで 戦傷病者の社会復帰と労苦』 ●平和祈念展示資料館『シベリア抑留を描く 田中武一郎絵画展』